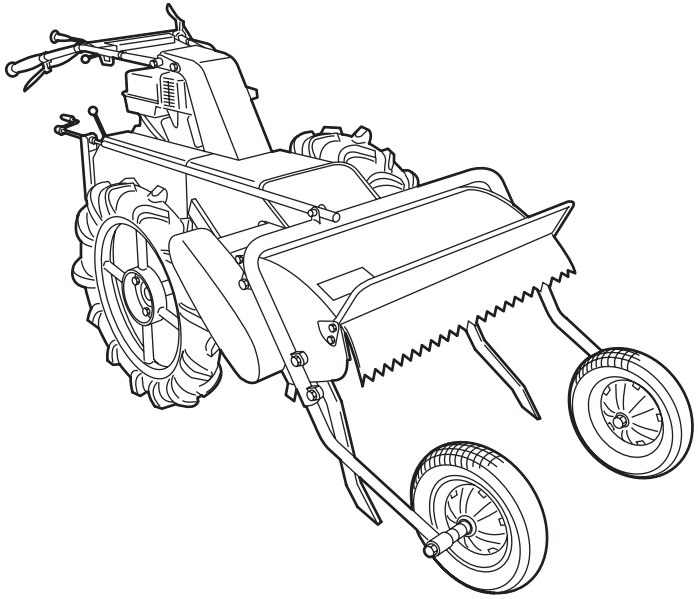
KIORITZ

共立ハンマーナイフ

KH800A／KH800HA 甘藷つる切機

取 扱 説 明 書



警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

Serial No.13482-

Ver.1.1

※快適作業を維持するため、製品の定期点検を励行しましょう。

目　　次

ごあいさつ....2
はじめに....2
危険警告記号の説明....2
使用目的....3
安全....3
トレーニング....3
運転の前に....3
運転操作....4
保守と保管....5
長期保管について....5
廃棄処分について....5
1. 使用上の注意事項....6
注意 1-1 本機の使用前の準備....6
危険 1-2 回転物の注意....6
注意 1-3 高温部の注意....6
2. 安全作業について....6
警告 2-1 安全の為の衣服について....6
注意 2-2 本機の改造禁止....6
警告 2-3 マフラー・エンジン回りのごみは取除く....6
警告 2-4 こんなときは運転しない....6
注意 2-5 本機を他人に貸すとき....7
警告 2-6 夜間走行・作業の禁止....7
注意 2-7 移動について....7
注意 3. 傾斜地作業について....7
4. 特長....7
5. 仕様....8
変速位置及び速さ・能率....8
6. 各部の名称・ラベル....9
注意 7. 使用前の点検....10
7-1 点検作業....10
7-2 各部の注油....10
7-3 摩擦する部分の注油....10
7-4 グリースアップについて....11
7-5 グリースアップ位置....11
7-6 タイヤの空気圧....11
7-7 V ベルトについて....11
8. 各部の締め付け....12
8-1 締め付けトルク....12
8-2 機種別締め付けトルク....13
9. 本機の運転について....14
9-1 本機の運転前の確認と注意事項....14
注意 9-2 チェンジレバー....14
警告 9-3 作業速さ....14
注意
注意 9-4 走行テンションレバー....14
9-5 刈高調節....14
9-6 操向クラッチ....14
注意 9-7 ナイフクラッチ....14
注意 9-8 ハンドル調節....14
注意 9-9 つる切りガイドの調節....15
注意 9-10 前輪の調節....15
警告 10. エンジン始動について....15
10-1 本機から離れるときの注意....15
10-2 エンジン取扱上の注意事項....15
注意 11. メンテナンス....16
危険 11-1 燃料取扱い上の注意....16
危険 11-2 モアユニットについて....16
注意 11-3 ナイフの取付け、取外し....16
11-4 ナイフの交換....16
注意 11-5 ナイフの研磨....16
注意 12. ベルトの調節について....17
注意 13. メンテナンススケジュール....17
14. 主な消耗部品....18

ごあいさつ

このたびは､共立ハンマーナイフ KH800A / KH800HA をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、本機の正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。
本機をご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、内容を十分にご理解の上、ご使用ください。
いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

はじめに

本書を読んで本機の運転方法や整備方法を十分に理解し､他人に迷惑の掛からない、適切な方法でご使用ください。
本機を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。
本書に無い保守、整備などは決して行わないでください。
整備を行う場合は専門知識のある要員によって作業を行ってください。
整備について、また純正部品についてなど､分からないことはお気軽に弊社代理店、販売店または、弊社におたずねください。
お問い合わせの際には、必ず本機の型式と製造番号をお知らせください。
本機を貸与または、譲渡する場合は本機と一緒に本書をお渡しください。

株式会社やまびこ

⚠注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
部品交換を行う場合は、必ず「純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。
純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

⚠	危険警告記号

この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。
いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。
これらを遵守されない場合、事故につながる恐れがあります。

⚠危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。

⚠警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。

⚠注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのある、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。

重要

本機の構造などの注意点を示しています。


……取扱説明書参照


……危険マーク足の切断


……火気厳禁


……高温部やけど注意


……はさまれ注意


……回転物ベルト巻込み


……飛散物危険マーク


……排気ガスに注意


……燃料


……潤滑油



……グリース


……警告マーク
（安全のための衣服）

使用目的

本機は、甘藷つる切り作業を目的とした機械です。
この作業目的以外で使用したり、本機の改造をしないでください。
本機をその他の作業目的で使用したり、改造すると大変危険であり、本機を損傷する原因にもなります。

安全

本機は、日本国内での使用を前提にしています。
したがって、海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。
誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。
事故を防止するために、以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください。
特に危険警告記号のついた事項にご注意ください。
危険警告記号は、「注意」「警告」または「危険」の文字と共に表示され、いずれ安全作業のための重要事項を示します。
これらを遵守されないと人身事故につながる恐れがありますので、十分にご注意ください。

⚠危険

本機は、安全な取り扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転、検査を重ねた上で出荷しております。
本機を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながる恐れがあります。
以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

トレーニング

1. 本書や関連する機器の説明書をよくお読みください。
   各部の操作方法や警告ラベル、本機の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。
2. オペレーター、整備士が日本語を読めない場合には、オーナーの責任において、本書の内容を十分に説明してください。
3. すべてのオペレーター、整備士に適切なトレーニングを行ってください。
   トレーニングはオーナーの責任です。
4. 正しい運転知識のない方には本機を操作させないでください。
5. オーナーやオペレーターは自分自身や他の安全に責任があり、オーナーやオペレーターの注意によって事故を防止することができます。
6. 人身事故や器物損壊などについてはオーナー、オペレーター、整備士が責任を負うものであることを忘れないでください。

運転の前に

1. 作業には安全靴と長ズボン、ヘルメット、保護メガネ、マスク、および聴覚保護具（イヤーマフ）を着用してください。長い髪、だぶついた衣服、装飾品などは可動部に巻き込まれる危険があります。また、裸足やサンダルで本機を運転しないでください。
2. 本機が使われる区域を点検し、小石、玩具、および針金のような、本機がはね飛ばす可能性のあるすべての物体を取り除いてください。
3. 燃料の取り扱いには十分注意してください。

⚠警告

燃料は引火性が高いので、以下の注意を必ず守ってください。

[1] 燃料は専用の容器に保管する。
[2] 給油はエンジンを始動する前に行う。エンジンの運転中やエンジンが熱いときに燃料タンクのフタを開けたり給油をしない。
[3] 給油は必ず屋外で行い、給油中は火気厳禁とする。
喫煙しない。
[4] 燃料がこぼれたらエンジンを始動せずに、本機を別の場所に動かし、気化した燃料ガスが十分に拡散するまで引火の原因となるものを近づけない。
[5] 燃料タンクや燃料容器のフタは確実に閉める。

4. 運転操作装置（ハンドル、ペダル、レバー等）、安全装置、防護カバーが正しく取り付けられ、正しく機能しているか点検してください。これらが正しく機能しないときには作業を行わないでください。
5. ブレーキの効きが悪かったり、ハンドルに著しいガタがある場合は、必ず調整、修理してから使用してください。
6. マフラーが破損したら必ず交換してください。
7. 使用前にナイフ、ナイフ取り付けボルト、ナイフ軸 Assy を目視で点検してください。
   バランスを狂わせないようにするために、損傷したナイフとボルトはセットで交換してください。

運転操作

1. 有毒な一酸化炭素ガスがたまる可能性のある閉め切った場所では、エンジンを作動しないでください。
2. 十分に明るい場所でのみ運転し、穴や、隠れた危険を避けるようにしてください。
3. エンジンを始動する前に作業部への駆動をすべて遮断し、走行シフトをニュートラルにして、駐車ブレーキをかけてください。
4. 取扱説明書の指示に従い、刃から足を十分離した状態でエンジンを始動させてください。
5. できるだけ、濡れた草地での運転を避けてください。
6. 傾斜地では常に足元に注意してください。
7. 本機の速度はオペレーターの歩く速度に合わせてください。
8. 「安全な斜面」はありません。
   草の生えた斜面での作業には特に注意が必要です。
   転倒を防ぐために
   [1] 極端に急な傾斜地では作業をしない。
   [2] 斜面では急停止、急発進しない。
   [3] クラッチをゆっくりつなぐ。
   また坂を下る場合は、走行ギヤを入れた状態にする。
   [4] 斜面の走行や旋回は低速で行う。
   [5] 凸凹や穴、隠れた障害物がないか常に注意する。
   [6] 決められた角度以上の傾斜地または転倒やスリップの危険がある場所では、絶対に作業を行わない。
9. ガードが破損したり、正しく取り付けられていない状態のままで運転しないでください。
10. 防護カバーを上げたまま、または取り外したり改造して運転しないでください。
11. エンジンのガバナーの設定を変えたり、エンジンの回転速度を上げすぎたりしないでください。
    エンジンを規定以上の速度で運転すると、人身事故を起こす危険が増大します。
12. 運転位置を離れる場合は次を厳守してください。
    [1] 平らな場所に停止する。
    [2] 作業部と走行の駆動を遮断する。
    [3] 走行シフトをニュートラルにして、駐車ブレーキをかける。
    [4] エンジンを止める。
13. 以下のような状況になった場合には、エンジンを止めてください。
    [1] 燃料を給油するとき。
    [2] 刈高を調整するとき。
    ただし運転位置から遠隔操作で行える場合は除きます。
    [3] 詰まりを取り除くとき。
    [4] 本機の点検、清掃、整備作業等をするとき。
    [5] 本機を離れるとき。
    [6] 本機に異物がぶつかったり、異常な振動を感じたとき。
    本機を再始動する前に本機の損傷を点検・修理してください。
14. 作業部や回転部に手足を近づけないでください。
15. エンジン作動中は、本機を持ち上げたり、運んだりしないでください。
16. 後進するときは、下方と後方の安全に十分注意してください。
17. 周囲に人がいるとき、特に子供やペットがいるときは、絶対に作業を行わないでください。
18. 旋回するとき、道路を横切るときなどは減速し、周囲に十分注意してください。
19. 草地以外の場所では、刃の回転を停止してください。
20. 移動走行中や作業を休んでいるときは、作業部への駆動を止めてください。
21. アルコールや薬物を摂取した状態で運転をしないでください。
22. 本機をトラックやトレーラーに積載する場合は、十分注意してください。
    積み降ろしは平らな安全な場所で、トラックやトレーラーの駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、輪止めをして行ってください。
    トラックやトレーラーに積載して移動するときは、本機の駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、強度が十分あるロープ等で本機を固定してください。
    あゆみ板を使用する場合は、幅、長さ、強度が十分あり、スリップしないものを選んでください。
23. 本機を輸送する場合は、燃料コックは閉じてください。
24. 見通しの悪い曲がり角、植え込みや立ち木などの陰では安全に十分注意してください。
25. わき見運転、手放し運転はしないでください。
26. エンジン停止中はスロットルを「LOW」（かめマーク側）にして、燃料コックを閉じておいてください。

保守と保管

1. 修理・調整・清掃作業の前には、平らな場所で本機を停止し、作業部の駆動を遮断し、駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し、念のために点火プラグからワイヤを抜いてください。
   また、本機のすべての動きが完全に停止したことを確認し作業を行ってください。
2. 火災防止のため、エンジンやマフラー、燃料タンクの周囲、作業部の周囲、および駆動部に、余分なグリース、草や木の葉、埃などがたまらないよう注意してください。
   オイルや燃料がこぼれた場合はふき取ってください。
3. 閉めきった場所に本機を保管する場合は、エンジンが十分冷えていることを確認してください。
4. 本機にシートをかけて保管する場合は、過熱部分が十分冷めていることを確認してから行ってください。
5. 炎や火花がある屋内では、タンクに燃料が入った状態で保管しないでください。
6. 保管・搬送時には、燃料コックを閉じてください。
7. 炎の近くに燃料を保管しないでください。
8. 絶対に訓練を受けていない人に本機を整備させないでください。
9. 点検・整備はマフラーやエンジンが冷めてから行ってください。
10. 調整、整備等に必要な工具類は適切な管理をし、目的に合った工具を正しく使用してください。
11. 本機をジャッキアップする場合は、ジャッキスタンドなどを使用し、確実に支えてください。
12. 部品を取り外すときなど、スプリングや油圧などの圧力が一気に解放される場合がありますので、注意してください。
13. 配線等が接触したり、被覆のはがれがないように注意してください。
14. ナイフの点検を行うときには、安全に十分注意してください。
    [1] 必ず手袋を着用してください。
    [2] 悪くなったナイフは必ず交換してください。
    [3] 絶対に曲げ伸ばしや溶接で修理しないでください。
15. 可動部に手足を近づけないでください。
    エンジンが作動したままで調整作業をしないでください。
16. すべての部品が良好な状態にあるか点検を怠らないでください。
    消耗したり破損した部品やラベルは安全のため早期に交換してください。
17. 常に本機全体の安全を心掛け、ナットやボルト、ねじ類が十分締まっているかを確認してください。
18. 燃料タンクの清掃が必要になった場合は、屋外で作業を行ってください。

長期保管について


…詳細はエンジン取扱説明書を参照してください。

- 泥や草屑、油汚れ等をきれいに落としてください。
- 各注油箇所にグリース注入、塗布と、注油をしてください。
- 燃料タンク内のガソリン及びキャブレターのフロートチャンバ内のガソリンを抜取ってください。
- 注油



  各部の摺動部に、グリース及びオイルを注油してください。
- タイヤの空気圧を標準よりやや高めにしてください。
- 清掃して乾燥した場所にカバー等をかけて格納してください。
  本機及びエンジン等をきれいにして、クリーナー・エレメント・オイルの点検交換をして、次回の使用時に備えてください。

廃棄処分について

整備、修理等の作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。(例：廃油、不凍液、バッテリー、ゴム製品、配線等)

1. 使用上の注意事項

1-1 ⚠注意 本機の使用前の準備



① 本機の使用前と後には必ず点検・整備をしてください。
② 防護カバー等の防護部品は、使用者の危険を防止するものです。必ず所定の位置に取付け、破損した場合は交換してください。
③ 本機を運転する前に警告表示ラベルや取扱説明書を熟読し、本機の操作を十分理解してから運転してください。

1-2 ⚠危険 回転物の注意



① 作業やメンテナンス中、ナイフ等回転している部分は危険ですので、手、足やものを入れたり、触れたりしないでください。
② 運転中、まわりに人がいないか、破損する恐れの物がないか確認し作業してください。
③ 石、針金、棒切れ等の障害物は、ナイフの損傷、飛散物の事故等の原因になりますので取除いてから使用してください。
針金、ビニール等はナイフ軸に巻付くので、異常音がしたらエンジンを停止させ、ナイフの回転が止まってから除去してください。
④ ナイフが万一折損した場合は、ナイフ軸 Assy バランスが狂い、振動が出て非常に危険であり、本機も壊れますので必ずナイフを交換してください。

1-3 ⚠注意 高温部の注意



運転中および運転停止直後にマフラーやエンジン等に触れないでください。ヤケドをする危険があります。

2. 安全作業について

甘藷つる切機は、ナイフを回転させる機械で、振動、傾斜、埃等、使用条件が過酷な上に、使用する場所、障害物、草の条件等いろいろありますから、使用者は本機の点検整備の徹底をはかり、本機の操作の熟練に努め、自己の安全を図ると共に、他人に危害を及ぼさないように、正しく本機を使って安全第一に作業されることをメーカーとして強く要望します。

2-1 ⚠警告 安全の為の衣服について

安全の為、本機に巻込まれないきちんとした衣服、作業に適した保護器具・メガネ・靴・ヘルメット・手袋等を着用してください。



2-2 ⚠注意 本機の改造禁止

本機の改造はしないでください。
部品および油脂類の交換をするときは、当社が指定するものを使用してください。
本機の改造や、当社指定以外の部品などを取付けて運転すると、本機の破損や傷害事故を招くことがあります。

2-3 ⚠警告 マフラー・エンジン回りのごみは取除く



エンジン冷却風入口、エアクリーナー空気取入口、マフラー、エキゾーストパイプ部に刈取った草などの異物がたまりますと、エンジン不調、オーバーヒートなど火災の原因になりますので、すみやかに作業を中断し、過熱部が十分冷めるのを待って、取除いてください。

メンテナンス不良や無理な作業・枯草刈作業は火災の原因になります。
始業前・作業中には下記の清掃・点検等を行ってください。

1. マフラー・エンジン回りの枯草・塵埃等の堆積除去
2. 劣化による燃料ホースの亀裂点検
3. 燃料給油時の燃料漏れ点検
4. エンジン運転中の燃料給油禁止
5. ショートによる火災防止のため、配線の点検を行うこと。
6. 傾斜作業による燃料タンク・キャブレターからの燃料漏れ点検
7. 枯草刈作業は、必ず消火器・水等を携帯すること。

2-4 ⚠警告 こんなときは運転しない



① 疲れているときは本機を使用しないでください。もし、本機使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
② 病気の人、酒を飲んでいる人、薬物の影響のある人は本機を使用しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響を及ぼします。
③ 本機の操作に不慣れな場合は、取扱い方法や安全注意事項をよく理解してから本機を使用してください。また子供には使わせないでください。

2-5 ⚠注意 本機を他人に貸すとき



本機を他人に貸すときは、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

2-6 ⚠警告 夜間走行・作業の禁止

夜間や天候不良など視界の悪いときは走行・作業をしないでください。

2-7 ⚠注意 移動について

運搬移動する場合は、ナイフの回転を完全に停止して、道路及び地面の状態に配慮して本機を運転してください。

3. 傾斜地作業について

⚠注意

① 傾斜地作業は、転倒やスリップの危険のある場所では、使用しないでください。
② 10 度以上の傾斜地では、危険が伴いますので、使用しないでください。

4. 特　　長

4-1. 本機は、甘藷つる切り用として開発された高さ最大 30 cm の畝に使用できる刈幅 80 cm、最大出力 7.4 kW（10 馬力）の甘藷つる切り用ハンマーナイフです。

4-2. 車輪駆動の自走式で、内蔵クラッチミッションの採用により楽にクラッチ操作が出来ます。

4-3. 変速は、前進 6 段・後進 2 段で、地形その他の状況に応じた速さが選択出来ます。又、ダブルテンションクラッチにより運転中スムーズに変速が出来ます。

4-4. 走行クラッチ及びナイフクラッチはベルトテンション方式ですのでスムーズに入り、エンジンと本機に無理を与えません。

4-5. ナイフは、熱処理を施した特殊強靱鋼で良く切れ耐久力があり、ナイフ軸 Assy の左右入換えによって両面使用が出来ます。又、ナイフは畝の形状に合せ 4 種類の刃を使用しております。なお、ナイフはボルト、ナットで取付けていますので、取替えは簡単です。

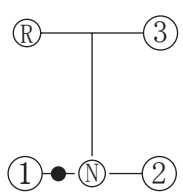
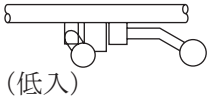
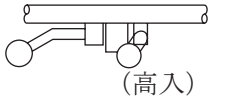
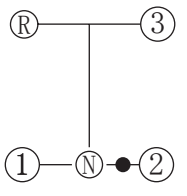
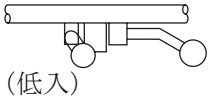
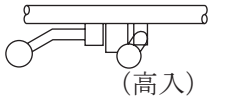
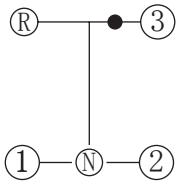
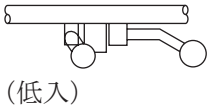
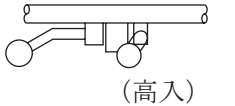
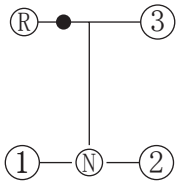
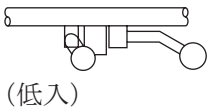
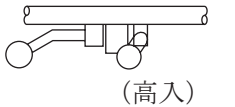
4-6. 前車輪は前後方向及び幅の調節がアーム及びねじで自由に出来ます。

5. 仕　　様

型式			KH800A	KH800HA
寸法	全長		246 cm	[251 cm]
	全幅		98 cm	
	全高		116 cm	[116 cm]
質量			231 kg	[249 kg]
最小回転半径			-	
エンジン	型式		三菱 GB300LN	
	種類		空冷 4 サイクル傾斜形横軸 OHV ガソリンエンジン	
	総排気量		296 cm^3（0.296 L）	
	最大出力		7.4 kW（10.0 PS）/1,900 rpm	
燃料タンク容量			ガソリン 6.0 dm^3（6.0 L）	
燃料消費率			320 g/kW・h（定格出力時）	
エンジンオイル容量			1.0 dm^3（1.0 L）	
作業幅（刈幅）			80 cm	
作業範囲（刈高）			14 - 35 cm	
ナイフ			φ 310（最大φ 378） 44 枚	
駆動方式	走行		メカ切り替え方式	
	作業部		メカ方式	
速さ（HST）		前進	-	
		後進	-	
ミッション			前進 3 段、後進 1 段 （オールギヤ、内臓式クラッチ）	
走行クラッチ			ダブルベルトテンション方式	
速さ（メカ）	前進	1 速	1.4 km/h	[1.6 km/h]
		2 速	2.3 km/h	[2.5 km/h]
		3 速	2.9 km/h	[3.2 km/h]
		4 速	4.6 km/h	[5.1 km/h]
		5 速	4.9 km/h	[5.5 km/h]
		6 速	7.9 km/h	[8.8 km/h]
	後進	1 速	1.8 km/h	[2.0 km/h]
		2 速	2.9 km/h	[3.3 km/h]
能率	1 速		900 m^2/h (9 a/h) (1.4 km/h x 刈幅 x 0.8)	[1,000 m^2/h (10 a/h) (1.6 km/h x 刈幅 x 0.8)]
	2 速		1,400 m^2/h (14 a/h (2.3 km/h x 刈幅 x 0.8)	[1,600 m^2/h (16 a/h) (2.5 km/h x 刈幅 x 0.8)]
	3 速		1,800 m^2/h (18 a/h) (2.9 km/h x 刈幅 x 0.8)	[1,900 m^2/h (19 a/h) (3.2 km/h x 刈幅 x 0.8)]
	4 速		2,900 m^2/h (29 a/h) (4.6 km/h x 刈幅 x 0.8)	[3,300 m^2/h (33 a/h) (5.1 km/h x 刈幅 x 0.8)]
	5 速		3,100 m^2/h (31 a/h) (4.9 km/h x 刈幅 x 0.8)	[3,500 m^2/h (35 a/h) (5.5 km/h x 刈幅 x 0.8)]
	6 速		運搬	
使用最大傾斜角度			-	
タイヤサイズ	前輪		3.00-8B/E 2P（φ 368 × 80mm）	
	後輪		4.00-19AL13 2P （φ 736 × 107mm）	[4.40-21AL18 2P （φ 810 × 116mm）]
タイヤ空気圧	前輪		指で 0.2 N（2.0 kgf）で押して軽くへこむ程度	
	後輪		120 kPa（1.2 kgf/cm^2）	
バッテリー			-	

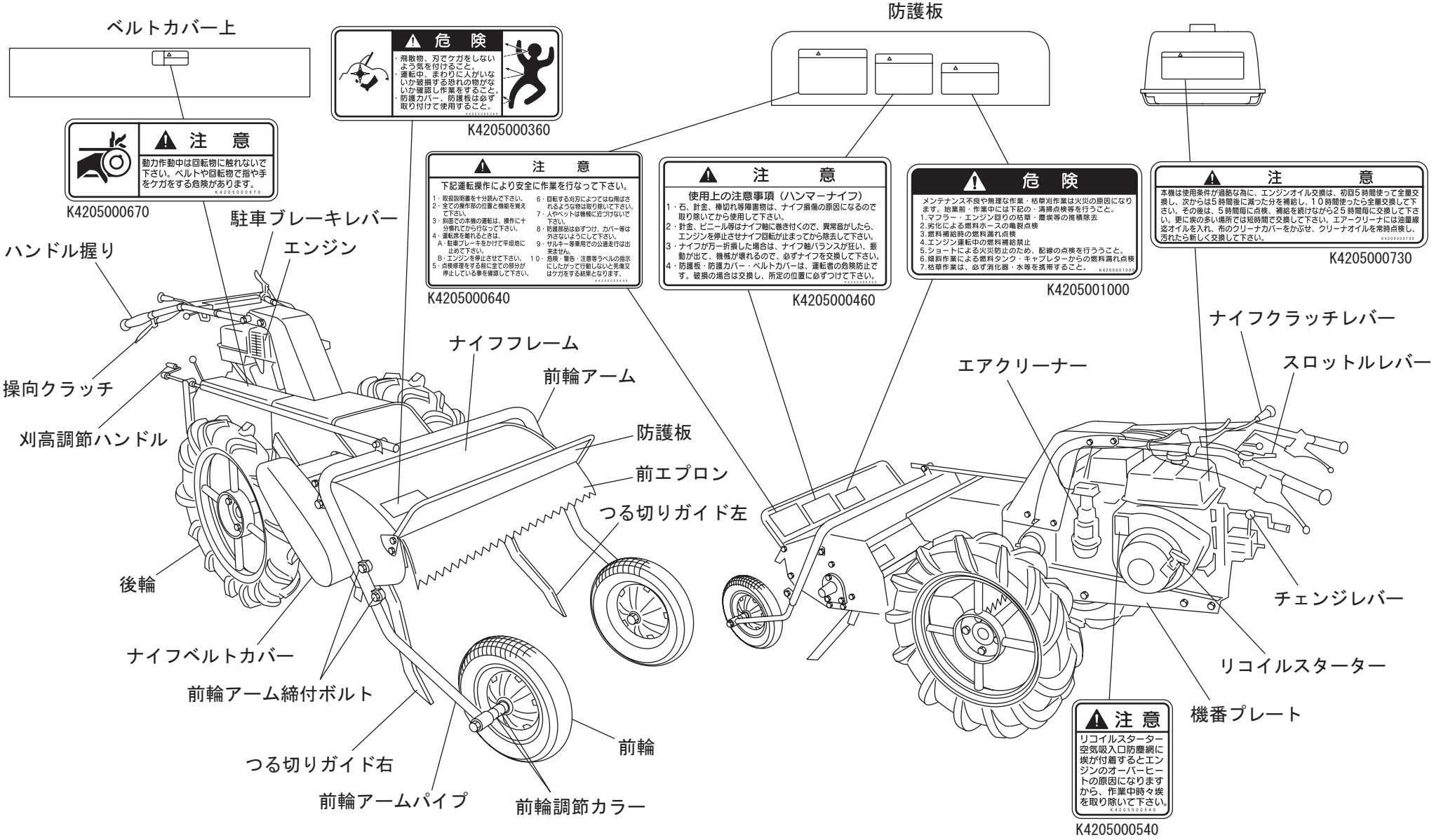
出荷時のエンジン最高回転速度は、1,950 rpm　　※[ ] 内は、高畝仕様

変速位置及び速さ・能率

チェンジレバーの位置	テンションレバーの位置	変速	KH800 速さ	KH800 能率(刈幅×速さ×0.8)
		前進 ①速	1.4km/h 〔1.6km/h〕	900m^2 (9a)/h 〔1000m^2 (10a)/h〕
		前進 ②速	2.3km/h 〔2.5km/h〕	1400m^2 (14a)/h 〔1600m^2 (16a)/h〕
		前進 ③速	2.9km/h 〔3.2km/h〕	1800m^2 (18a)/h 〔1900m^2 (19a)/h〕
		前進 ④速	4.6km/h 〔5.1km/h〕	2900m^2 (29a)/h 〔3300m^2 (33a)/h〕
		前進 ⑤速	4.9km/h 〔5.5km/h〕	3100m^2 (31a)/h 〔3500m^2 (35a)/h〕
		前進 ⑥速	運搬用の為、エンジン回転速度1500rpm以下で使用してください。	
		後進 ①速	1.8km/h 〔2.0km/h〕	
		後進 ②速	2.9km/h 〔3.3km/h〕	

〔 〕は高畝仕様

6. 各部の名称・ラベル


ベルトカバー上
危険
・飛散物、刃でケガをしないよう気を付けること。
・運転中、まわりに人がいないか破損する恐れの物がないか確認し作業をすること。
・防護カバー、防護板はぬず取り付けて使用すること。
K4205000360
注意
動力作動中は回転物に触れないで下さい。ベルトや回転物で指や手をケガをする危険があります。
K4205000670
K4205000670
防護板
注意
下記運転操作により安全に作業を行なって下さい。
1・取扱説明書を十分読んで下さい。
2・全ての操作部の位置と機能を覚えて下さい。
3・斜面での本機の運転は、操作に十分慣れてから行なって下さい。
4・運転席を離れるときは、
A・駐車ブレーキをかけて平坦地に止めて下さい。
B・エンジンを停止させて下さい。
5・点検修理をする前に全ての部分が停止している事を確認して下さい。
6・回転する刃方によってはね飛ばされるような物は取り除いて下さい。
7・人やペットは機械に近づけないで下さい。
8・防護部品はぬずつけ、カバー等は外さないようにして下さい。
9・サルキー等乗用での公道走行は出来ません。
10・危険・警告・注意等ラベルの指示にしたがって行動しないと死傷又はケガをする結果となります。
K4205000640
注意
使用上の注意事項（ハンマーナイフ）
1・石、針金、棒切れ等障害物は、ナイフ損傷の原因になるので取り除いてから使用して下さい。
2・針金、ビニール等はナイフ軸に巻き付くので、異常音がしたら、エンジンを停止させナイフ回転が止まってから除去して下さい。
3・ナイフが万一折損した場合は、ナイフ軸バランスが狂い、振動が出て、機械が痛れるので、必ずナイフを交換して下さい。
4・防護板・防護カバー・ベルトカバーは、運転者の危険防止です。破損の場合は交換し、所定の位置に必ずつけて下さい。
K4205000460
危険
メンテナンス不良や無理な作業・枯草刈作業は火災の原因になります。始業前・作業中には下記の・清掃点検等を行うこと。
1.マフラー・エンジン回りの枯草・塵埃等の推積除去
2.劣化による燃料ホースの亀裂点検
3.燃料補給時の燃料漏れ点検
4.エンジン運転中の燃料補給禁止
5.ショートによる火災防止のため、配線の点検を行ううこと。
6.傾斜作業による燃料タンク・キャブレターからの燃料漏れ点検
7.枯草作業は、必ず消化器・水等を携帯すること。
K4205001000
K4205001000
注意
本機は使用条件が過酷な為に、エンジンオイル交換は、初回5時間使って全量交換し、次からは5時間後に濁った分を補給し、10時間使ったら全量交換して下さい。その後は、5時間毎に点検、補給を続けながら25時間毎に交換して下さい。更に埃の多い場所では短時間で交換して下さい。エアークリーナには油量線迄オイルを入れ、布のクリーナカバーをかぶせ、クリーナオイルを常時点検し、汚れたら新しく交換して下さい。
K4205000730
K4205000730
ハンドル握り
駐車ブレーキレバー
エンジン
操向クラッチ
刈高調節ハンドル
ナイフフレーム
前輪アーム
防護板
前エプロン
つる切りガイド左
後輪
ナイフベルトカバー
前輪アーム締付ボルト
つる切りガイド右
前輪アームパイプ
前輪調節カラー
前輪
エアクリーナー
ナイフクラッチレバー
スロットルレバー
チェンジレバー
リコイルスターター
機番プレート
注意
リコイルスターター空気吸入口防塵網に埃が付着するとエンジンのオーバーヒートの原因になりますから、作業中時々埃を取り除いて下さい。
K4205000540
K4205000540

7. 使用前の点検

⚠注意

始業点検は必ず行い、下記のチェックをして安全を確認してください。

7-1 点検作業

点検作業は、エンジンを停止して行ってください。

7-2 各部の注油

① オイルが規定量入っているか。
② オイルが使い古されていないか。
③ 各部の摩耗部分の注油。



詳細はエンジン取扱説明書を参照してください。

7-3 摩擦する部分の注油

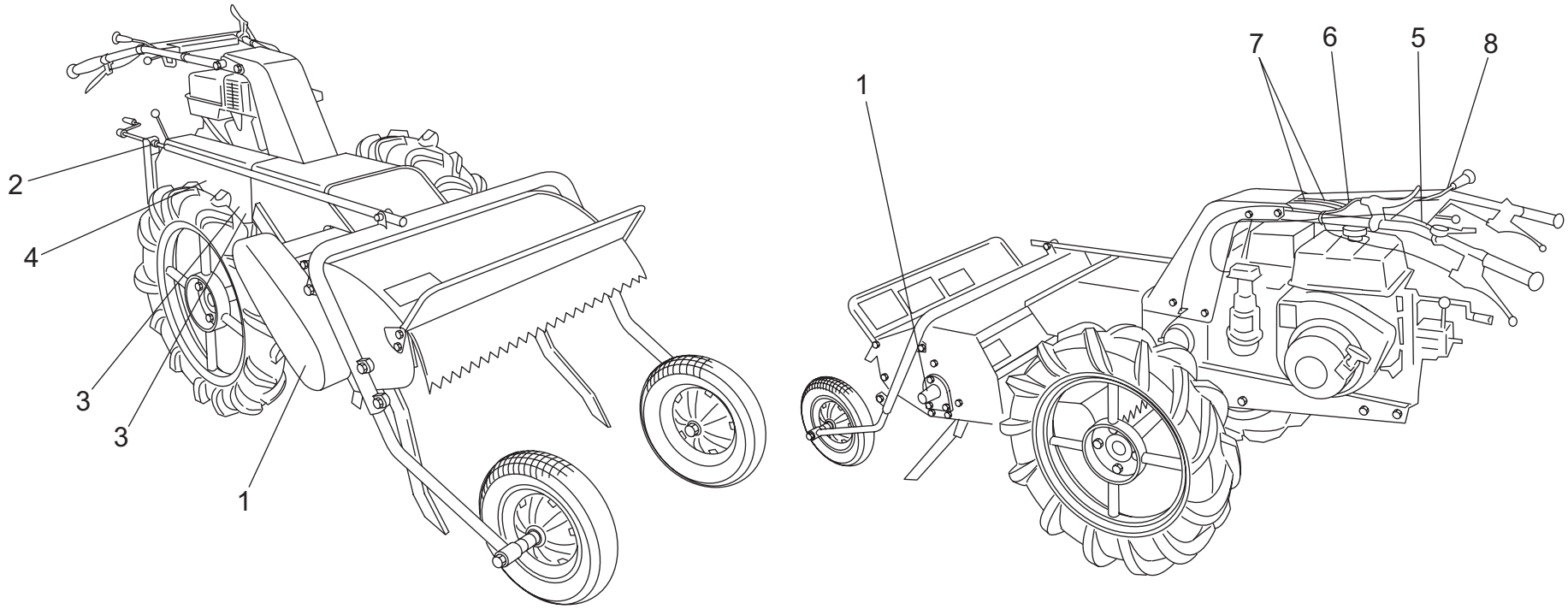


ワイヤーの出入口、各部の接続部分等に常に錆びないように注油してください。
ただし、操向クラッチワイヤーへは注油しないでください。
グリースニップルが付いている箇所には 10 時間ごとに、グリースアップしてください。

7-4 グリースアップについて

可動部がグリース切れにより、固着したり、破損したりする可能性がありますので、グリースアップの必要性があります。
メンテナンススケジュールに従って、リチューム系２号グリースでグリースアップしてください。
その他指定のグリース、潤滑油を使用する場所は、「グリースアップ位置」に記載されています。
指定のグリース、潤滑油でグリースアップしてください。

7-5 グリースアップ位置



1	ナイフ軸（グリース）	5	スロットルワイヤー出入口（潤滑油）
2	刈高調節支点（潤滑油）	6	ブレーキワイヤー出入口（潤滑油）
3	走行テンションアイドルレバー（潤滑油）	7	走行テンションワイヤー出入口（潤滑油）
4	ナイフテンションアイドルレバー（潤滑油）	8	ナイフテンションワイヤー出入口（潤滑油）

7-6 タイヤの空気圧

空気圧は、左右同圧にしてください。
前輪は指で 0.2 N（2.0 kgf）で押して軽くへこむ程度、後輪は 120 kPa（1.2 kgf/cm^2）です。

7-7 V ベルトについて

Vベルトの張り具合の点検を行ってください。（「12. ベルトの調節について」参照）

8. 各部の緩み

重要

各部には、ボルト止めが多く使われております。使用初期はボルト、ナットなどの緩みの出る場合がありますので、必ず増し締めを行ってください。

8-1 締め付けトルク

特別指示の無いボルト、ナットは、適切な工具により適正な締め付けトルクで締め付けてください。
締め付けが強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。
締め付け強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦などで決めております。
一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。
めねじの強度が弱い場合は適用できません。
錆びていたり、砂などが付着している「ねじ」は、使用しないでください。
所定の締め付けトルクを与えても締め付け不足になります。
ねじ面の摩擦が大きくなり、締め付けトルクのほとんどを摩擦損失し、締め付ける力になりません。
「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常の締め付けトルクで締めないでください。
ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。
締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。
一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。
インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。
できるだけ安定した締め付け作業ができるように練習してください。

呼び径	一般ボルト 強度区分 4.8		
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

呼び径	調質ボルト 強度区分 8.8			強度区分 10.9		
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	−	−	−	530	5,404.41	4,691.03
M24	−	−	−	670	6,831.99	5,930.17
M27	−	−	−	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	−	−	−	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

8-2 機種別締め付けトルク

KH800A / KH800HA

次のボルト、ナットは下記のトルクで締め付けてください。

ねじ緩み止め剤は、ネジロック中強度（スリーボンド 1322 相当品 嫌気性封着剤）を塗布してください。

使用部位	コード番号	品名	締め付けトルク			ねじ緩み止め剤
			N-m	kgf-cm	lb-in	
ミッション部 A	K0010060152	6 調質ボルト 15	14	142.76	123.91	ー
ミッションフレーム部	K0033060252	6 調質 8T ボルト 25	14	142.76	123.91	ー
ナイフフレーム部	K0071000552	ナイフ軸プーリー締め付けボルト	36 - 40	367.09 - 407.88	318.64 - 354.04	ー
	K6083000088	10 取り付けピン 22	19	193.74	168.17	ー
エンジン部	K0000100302	10 ボルト 30	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34	○

9. 本機の運転について

9-1 本機の運転前の確認と注意事項

① 本機を運転する前に各部分の作動状態が良好であること、特に、クラッチレバー、タイヤ、ハンマーナイフの刃の欠損又は、ナイフ取付ピンのセット状況を確認してください。
② どのような場合でも、緊急停止が出来るような姿勢で、運転してください。
③ 作業地域内の障害物（石・針金・棒切れ・布切れ・ビニール等）は取払い、貴方自身あるいは周囲の人がケガをしないよう注意してください。
④ 作業前に、穴・岩石・木の根（その他不法投棄物）等を確認してから、十分気をつけて、安全に作業をしてください。



9-2 チェンジレバー

チェンジレバーはハンドル下方に位置し、前進３段・後進１段のＨ型チェンジです。チェンジレバーガイドで確認してください。

⚠注意

チェンジレバーは必ず走行テンションを切ってから操作してください。

9-3 作業速さ

作業速さは、ダブルテンション方式を使用し、前進６速、後進２速の変速が出来ます。(8 ページ変速位置及び速さ・能率の表参照)

⚠警告

後進時は、後方に障害物がないことを確認してください。
転倒や障害物にはさまれて、重大な事故につながります。

⚠注意

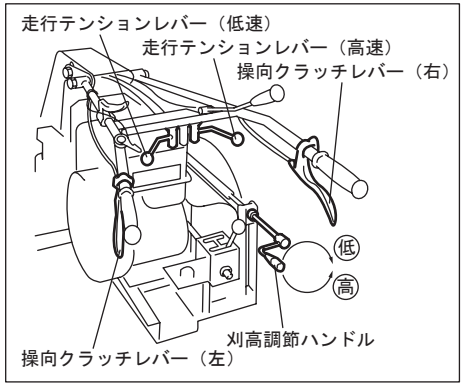
前進⑥速は運搬用ですが、速さが速く大変危険ですので地形の悪い所では使用しないでください。

9-4 走行テンションレバー

走行用テンションレバーは本機ハンドル中央に取付けてあり、左側レバーは低速、右側レバーは高速になっています。

9-5 刈高調節

刈高調節は、本機ハンドル右側握り部下方に位置し、右側に回せば刈高は低くなり、左側に回せば高くなります。畝の高さに合せ調節してください。

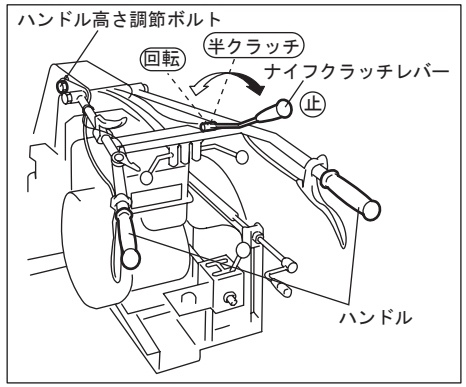


9-6 操向クラッチ

旋回時におけるクラッチ操作は、４輪固定式になっているので、前輪を浮かし気味にして、旋回しようとする方向の操向クラッチレバーを握れば容易に旋回し、クラッチレバーを離せば直ちに前進又は後進します。なお、クラッチレバーを左右同時に握れば機体は停止します。クラッチを握ってもクラッチが切れない場合はワイヤー調節ネジで調節してください。

9-7 ナイフクラッチ

ナイフクラッチレバーはハンドル右側にあり、前方へ押せばナイフ軸は回転し、手前に引けば止まります。



⚠注意

ナイフ軸の回転が正常になるまで半クラッチを使用して一度に急なクラッチを入れないようにしてください。

⚠注意

ナイフクラッチは刈取作業直前に入れ、それ以外のときは必ず切っておいてください。

9-8 ハンドル調節

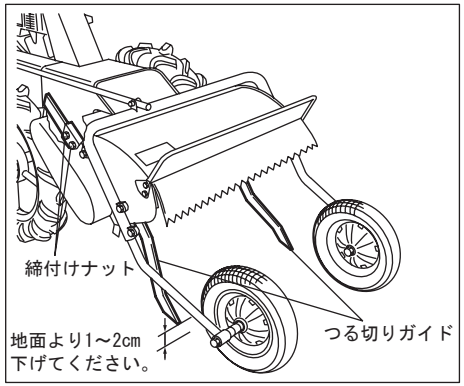
ハンドル高さの調節は、２段階の調節が出来ます。ハンドル調節ボルトを緩め、調節してハンドル高さを合せてください。調節後、ハンドル調節ボルトをしっかり締付けてください。

⚠注意

ハンドル調節は平地でエンジンを止め、全ての駆動部が停止しているのを確認してから行ってください。

9-9 つる切りガイドの調節

つる切りガイドの調節は左右２本のつる切りガイドを上下方向にボルト穴位置で変えられます。畝下のつるがうまくすくいあがるように地面より 1cm ～ 2cm ぐらい下げて使用してください。



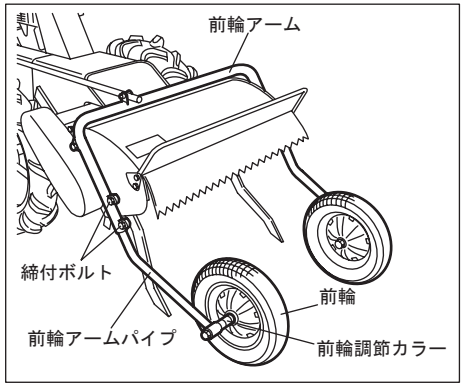
⚠注意

つる切りガイドの調節は平地でエンジンを止め、全ての駆動部が停止しているのを確認してから行ってください。

9-10 前輪の調節

① 車輪調節を大きく変える場合は、前輪アームパイプの締付ボルトを緩めて、アームの出入れで調節します。調節後、締付ボルトをしっかり締付けます。

② 車輪幅の調節
前輪締付ナットを外し、カラーにて調節してください。車輪ベアリング側の締付けは軽く締め、車輪が軽く回るように調節してください。



⚠注意

前輪の調節は平地でエンジンを止め、全ての駆動部が停止しているのを確認してから行ってください。

⚠注意

本機の前部を上げて作業する場合は、危険ですので確実にサポートしてください。

10. エンジン始動について

詳細はエンジン取扱説明書を参照してください。

⚠警告

エンジン始動前にエンジン取扱説明書を読み十分理解してください。駐車ブレーキをかけ、チェンジレバーの位置をニュートラルにし、すべてのテンションレバーを切りにしてください。カバー類が正しい位置に取付けてあり損傷していないか、本機の周囲に人がいないか、安全を確認してからエンジンを始動してください。
室内や換気の悪い所ではエンジンを始動しないでください。

10-1 本機から離れるときの注意

① 本機を水平な状態に駐車し、エンジンを切り、全ての稼働部分が停止していることを確認し、ブレーキをかけ、本機から離れてください。
② ブレーキの利きが甘い場合は、車輪止めを使ってください。
③ 傾斜地での駐車は絶対にしないでください。

10-2 エンジン取扱上の注意事項

① エンジン燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用してください。
② 本機は振動、傾斜、埃等使用条件が過酷なためにオイルの交換は、最初５時間使用して全量交換し、その後は使用前に点検補給を続けながら、初期交換後 25 時間ごとに全量交換してください。埃の多い場所で使用する場合は、更に短い時間で交換してください。通常 SAE30 番、寒冷時 SAE20 番、SD 級以上の良質オイルを使用し、交換のときはエンジン停止直後、エンジンが暖かいうちに交換し、エンジンを水平にして、規定量までオイルを入れてください。オイル不足はエンジンを使用不能にしますので注意してください。
③ 草埃がリコイルスターター及びファンカバー、シリンダーのフィンの間につまると空冷エンジンですのでエンジン過熱の原因になりますから注意して取除いてください。
④ 本機使用５時間位で一度エンジンのシリンダーヘッド、クランクケースカバーの締め付けボルトに緩みがないか確認し、増締めを行ってください。シリンダーヘッド締め付けボルトに緩みが出ますとガスケットが吹抜けますので、前記、増締めを行ってください。
締め付けトルクは、シリンダーヘッド締め付けボルトは 33 ～ 37 N・m（330 ～ 370 kgf･cm）、クランクケースカバー締め付けボルトは 18 ～ 22 N･m（180 ～ 220 kgf・cm）です。
⑤ エアクリーナーには油量線までオイルを入れ、クリーナーカバーの布袋をかぶせておき、オイルを常時点検し、よごれたら交換してください。

11. メンテナンス

⚠注意

① 実施するメンテナンスを熟知してください。

② メンテナンスは乾燥したきれいで平坦な場所で実施してください。
エンジンは必ず停止し、それを確認してから作業を行ってください。

③ 本機が作動中は、給油やメンテナンスをしないでください。

④ 駆動、作動部分には手足を近づけないでください。

⑤ 全部品は良い状態で正しく取付けてください。

⑥ 損傷部品は直ちに修理、交換してください。

⑦ 摩耗損傷部品は交換してください。

⑧ 本機は改造しないでください。整備上の必要部品は、安全確保のために純正部品を使用してください。

⑨ ゴミやグリース・オイル付着は取除いてください。

11-1 燃料取り扱い上の注意

⚠危険

① 燃料給油時は、火気厳禁です。

② 給油は屋外で、エンジンを停止し、エンジンを冷やしてから行ってください。

③ 火災を防ぐため、本機は常にきれいに保ち、ゴミの堆積、グリース・オイルの付着がないようにしてください。

④ こぼれた燃料はきれいに拭取ってください。

11-2 モアユニットについて

⚠危険

① ナイフ軸 Assy はバランスが悪いと、高速回転する為に振動が出て、非常に危険になり、本機に悪影響をあたえますので、くれぐれも注意してください。

② ナイフの取扱いには十分注意し、点検、交換はエンジンを止め、稼働部分が停止しているのを確認してから行ってください。

11-3 ナイフの取付け、取外し

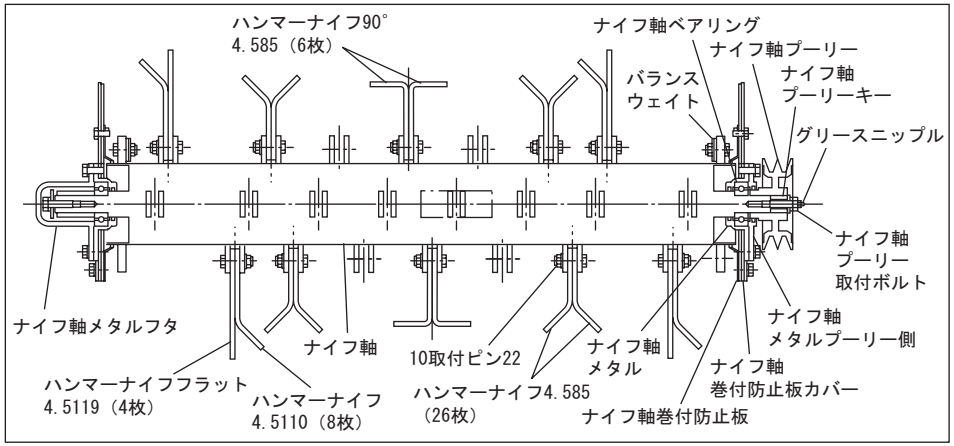
ナイフの取外しはナイフ軸 Assy 共取外す場合は、ナイフ軸 Assy 締付ボルト左右各 3 個を取外せばそのまま下に外れます。なお、一枚一枚取外す場合は、ナイフ軸のナイフ取付ヒッチ部に、取付ピン、さらばね付ナットにて、簡単に取付け、取外しが出来ます。

⚠注意

ナイフ軸 Assy を取外す場合は、手や足を下に入れないでください。

11-4 ナイフの交換

弊社出荷の際、ナイフ軸 Assy（ナイフ取付済み）のバランスをとってありますので、ナイフ一枚一枚の重量の揃っているものを全部交換かもしくは、左右を相対的に交換を行わないとバランスがくずれ、振動がでることがあります。高速回転しますので必ずバランスには留意して、ナイフ交換を行ってください。



11-5 ナイフの研磨

ナイフは両面共に、消耗した場合、ナイフ一枚一枚の重量が出来るだけ揃うように注意して研磨してください。

⚠注意

ナイフを研磨するときは保護メガネをし、手袋をつけて作業してください。

12. ベルトの調節について

⚠注意 

ベルトの調節は、エンジンを切り、稼働部分が停止していることを確認してから行ってください。

① ミッション及びナイフベルトの張りが弱い場合は、エンジン締付ボルトを緩めて、両方のベルトの張りを見て調節してください。

② ミッションベルトの張りの強さは、走行テンションレバーを入れたとき、テンションスプリングが5～8 mmぐらい、ナイフベルトの張りの強さは、ナイフクラッチレバーを入れたとき、テンションスプリングが12～15 mmぐらいに伸びるように調節し、微調節の場合は、テンションワイヤー調節ネジにて調節してください。

③ 中間プーリーとナイフ軸プーリーにかけてあるベルトの調節はナイフ軸カバーを取り、テンションプーリー調節ボルトにて調節してください。。

13. メンテナンススケジュール

⚠注意

○…点検、調整、補給、清掃　●…交換

	メンテナンス	使用前	5H	10Hごと	25Hごと	100H	200Hごと	300Hごと
エンジン	初期エンジンオイル		●					
	エンジンオイル	○			●			
	エアクリーナーオイル	○						
	リコイル、シリンダーフィン	○						
	燃料	○						
本体	初期ミッションオイル					●		
	ミッションオイル							●
	注油			○				
	タイヤ空気圧	○						
	操向クラッチ	○						
	ブレーキ	○						
	Vベルト	○					●	
	各部のネジの緩み	○						
	カバー類の破損	○						
	刈草、ゴミ等の除去	○						
モアユニット部	ナイフ折損	○						
	ナイフ取付ボルトの緩み	○						
	ナイフ軸のグリースアップ			○				
	防護板、防護カバー	○						

14. 主な消耗部品

	部品コード	部品名	員数	備考
ナイフ	K252000009B	ハンマーナイフ 4.585	26	
	K252000005B	ハンマーナイフフラット 4.5119.5	4	
	RH80BV-0331AB	ハンマーナイフ 904585	6	
	K252000010B	ハンマーナイフ 4.5110	8	
	K6083000088	10 取付ピン 22	22	
	K0143080002	8 さらばね付ナット	22	
V ベルト	K2342050000	V ベルト OLB50	2	走行用
	K2342081000	V ベルト OLB81	2	ナイフ用（エンジン～中間軸）
	K2342085000	V ベルト OLB85	2	ナイフ用（エンジン～中間軸）[高畝用]
	K2342039000	Vベルト OLB39	2	ナイフ用（中間軸～ナイフ軸）

株式会社やまびこ

〒198-8760 **東京都青梅市末広町 1-7-2**　　**Tel 0428-32-6181**

やまびこジャパン株式会社

〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

北海道支社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

東北支社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

東日本支社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

中部支社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

西日本支社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

九州支社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

(C) 2017 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

KH800A--UM--JPZ/17F-00-S.K